

川崎市農政情報誌

～ 第 4 号 ～

かわさきそだち

～『農』のあるライフスタイルをめざして～

発行 川崎市農業振興センター

〒213-0015

川崎市高津区梶ヶ谷 2-1-7

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464



川崎市農業技術支援センター が発足しました！



平成 20 年 4 月 1 日、果樹栽培の技術支援などを行ってきたフルーツパークが母体となり、『川崎市農業技術支援センター』が発足しました。

川崎市農業技術支援センターでは、従来フルーツパークで行っていた果樹部門の技術支援機能と、緑化センターで行っていた野菜・花き部門の技術支援機能を統合・一元化して、農業者の方々への営農支援の強化を図っていきます。

また、市民の方々の農業に対する更なる理解と積極的な参加を促進する施設として、今後、「アグリパーク」という愛称で親しんでいただけるよう、従来どおり園内を公開・開放するとともに、農業イベントや講習会などを開催していきますので、ぜひお越しください。

休 園 日 毎週月曜日

(月曜日が祝日の場合は、翌日火曜日が休園)

12 月 29 日～1 月 3 日

開園時間 4 月～8 月 : 9 時 30 分～16 時 30 分

9 月～3 月 : 9 時 30 分～16 時

【問い合わせ先】 川崎市農業技術支援センター

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-17-1 電話 945-0153 FAX 945-6655

なお、緑化センターについては、都市緑化植物園として環境局へ移管しましたが、従来どおり開放しています。
また、川崎市農業振興センターで行っていたカラスやハクビシンなどの鳥獣保護法による相談、有害鳥獣の捕獲許可事務等は、健康福祉局保健医療部動物愛護センター（電話 766-2237）に業務移管しています。

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasakinonogyo.htm>
(『かわさきの農業』で検索)

菅生地域交流農園が開園しました！！

3月18日、『菅生地域交流農園』の開園式が行われました。この農園は、市が土地所有者から土地及び水道、農機具置き場といった施設を無償で借りて設置し、管理は利用者が管理組合を設立して実施する新しいタイプの市民農園です。農園の設置には土地所有者、また、農園の管理には利用者相互はもちろん、管理組合の設立や栽培指導について、地域の自治会や生産者の協力が欠かせないものとなっています。利用者と地域の自治会や生産者が交流することで地域農業への理解が深まり、地域農業が活性化されることが期待されます。

当日は天候にも恵まれ、土地所有者、管理組合会長、長沢自治会会長、JA セレサ川崎長沢支部支部長、農業振興センター所長などによって、農園に鍬を入れ（写真右）農園の利用が開始されました。

食の安全に関心が高まる中、開園式に参加した19人の利用者は、自分で安心な野菜を作る為、農作業を始めたり地域の生産者に栽培の相談をしたりしていました。



各賞の受賞者

(敬称略)

- 自給飼料増産共進会（カブ） 12月10日（月）
優秀賞 吉垣 茂（麻生区王禅寺東）
- 第57回関東東海花き展覧会
花苗 農林水産省関東農政局長賞 内藤浩由（パンジー）（中原区下小田中）
枝物 農林水産省生産局長賞 吉田恵一（ハナモモ）（宮前区馬絹）
- 花と緑のフェスティバル 第30回神奈川県花き展覧会
枝物 農林水産大臣賞 都倉敏信（ハナモモ）（宮前区馬絹）
枝物 金賞 都倉信幸（サンシュユ）（宮前区馬絹）
- 施設野菜立毛共進会（前期） 3月4日（火）
市長賞 持田 高弘（桃太郎ヨーク）（宮前区東有馬）

イベント・募集案内

◆Buyかわさきフェスティバルで市内産農産物を販売します。

かわさき地産地消推進協議会も参加し、市内産農産物“かわさきそだち”の販売を行います。

実施日：平成20年5月31日（土） 午前10時～午後5時

実施場所：JR武蔵溝ノ口駅 改札口前自由通路

◆花と緑の市民フェアを開催します。

日時 平成20年5月23日（金）～25日（日）

会場 等々力緑地 催し物広場

交通 武蔵小杉駅または武蔵溝ノ口駅からバス利用 市営等々力グランド入口下車

内容 ○花と緑の即売会 ○市内産野菜・たまごの即売会 ○野点 ○園芸相談

○フラワーアレンジメント展 ○フラワーデザイン講習会等 ○青空園芸教室 ○動物ランド

○花・植木の品評会出品物即売 ○農産物加工講習会

◆平成20年度ファーマーズクラブ（第1回）を開催します。

日時 平成20年7月20日（日）（荒天時21日（月・祝日）に順延）

内容 野菜・花き圃場の見学と農作業体験等

*参加者募集については市政だより5月21日号に掲載予定です。

掲 示 板

◆農産物大型直売所（セレスモス）がオープンします！◆



平成20年4月26日麻生区黒川に農産物大型直売所（セレスモス）がオープンします。直売所では川崎の農家の皆さんが丹精こめて作った「かわさきそだち」の新鮮野菜が販売されます。四季折々の旬の味、しかもとりたて。安全で安心な野菜から農家さんの顔も見えてきます。一味違う野菜をご賞味ください。野菜の他に農産物の加工品やお花もあります。場所は小田急多摩線黒川駅から徒歩約5分、車では鶴川街道沿いに60台分の駐車場がありますので、ぜひお立ち寄りください。

◆川崎市農業委員会委員一般選挙の執行について◆

7月18日に任期が満了することに伴う市農業委員会委員の一般選挙が、今年の夏に執行されます。投票日等は決まり次第「市政だより」及び市選挙管理委員会のホームページでお知らせします。

問い合わせ先 市選挙管理委員会事務局 電話 200-3425 FAX 200-3951

HP アドレス <http://www.city.kawasaki.jp/91/91senkyo/home/senkan/index.htm>

農 業 技 術 情 報

直売向けカジュアルフラワー栽培について

川崎市ではケイトウ（久留米種）について、神奈川県営農指導協議会が提案している栽培手法について試験を行いました。これは、育苗箱（ガーデンパン）に播種して栽培することでコンパクトな切花を生産する新しい栽培手法です。

市場出荷向けの切り花は業務用の生花装飾や生け花に使えるよう、ケイトウの場合切花長 80 cm以上でないと通常の価格で取引されませんが、直売所で販売される切り花は家庭の室内装飾用のため、コンパクトでかわいく見える方が消費者のニーズに適合します。

また、育苗箱と軽量土（ピートモス主体の市販用土6に対してバーミキュライト（M）4を混合）を使用することで、根域が制限されコンパクトな草姿になるとともに無加温の育苗ハウスを有効利用することにより、促成栽培（8月下旬播種のケイトウの場合 10 週間）することができるため施設の回転率を上げることが出来ます。

ケイトウは密植させることにより、長さや軸径を小さく抑えるため、3条に1条あたり 80 粒すじ播きしました。もう少し栽植密度を下げる（播種量を少なくするか間引く）方が歩留まりが向上しそうです。

採花本数の増加と品質の向上を図るため栽植密度と施肥の方法を確立することが今後の課題です。いろいろな品目の「カジュアル切り花」を生産しセレスモスの品揃えが増やしていけるとよいでしょう。



今回は、麻生区高石の高島美穂さん宅を訪問しました。高島さんは野菜・果樹を栽培し、加工品にも取り組んでいます。

高島さんは小さい頃から農業者である祖父の仕事を手伝い、農に親しんできたそうです。大学在学中、祖父がふと漏らした「俺の代で畑も終わりか」の言葉を聞き、自分が跡を継ごうと就農の決意を固めました。夏休み等長期の休みを利用して祖父から技術を学び、大学卒業後、本格的に就農し、今年4月で3年目となります。

始めは祖父から言われたことをやるだけで精一杯でしたが、慣れてくると自分のやりたいことが次々と出てきました。まずはハーブ類を畑の少しのスペースでやり始めたのですが、直売所に出し、次第にリピーターが増えていきました。直売所でのお客さんの声が非常に役に立っているそうです。『バジルペースト』はお客さんの何気ない一言で生まれた一品。リピーターが増え、「自分の作ったものを待ち望んでもらえるのが嬉しい」と語ります。その一方厳しい意見も真摯に受け止め、次に活かすためさらなる努力を続ける一面ものぞかせてくれました。

大変なことは、力仕事なので重い荷物を運ぶことと、冬の寒い時期の作業とのこと。しかし、楽しいことの方が多く、これからやりたいことがたくさんあると語ってくれました。今年3月に加工所を設置し、柑橘系のジャム類、バジルペースト等を作り始めました。4月にはセレサモスが開店するので、出荷していくそうです。

今後の目標は「加工品の生産と農作業の両立をきちんとやっていくこと」と、これからの川崎の農業を支える若手の女性農業者としての決意を語ってくれました。



完成したばかりの加工所と高島さん

直売所紹介

市に直売団体として登録されている直売所を南部から順に紹介しています。今回は、宿河原農産物直売所です。

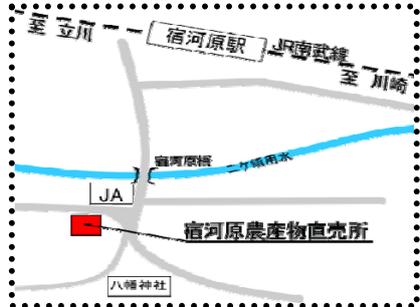
この号が発行される頃は、タケノコなど季節の野菜が販売される予定だそうです。

場所 JA セレサ川崎 宿河原支店前
住所 多摩区宿河原3-12
販売日 毎週月・火・金曜日 10時30分～12時頃

*12時前に品物がなくなることもあります。

連絡先 JA セレサ川崎 柿生支店

電話 044-988-1131



かわさきそだちでクッキング

草だんご

材料 (約20個分)
上新粉 300g
砂糖 大さじ1
熱湯 1.5カップ
よもぎ 50g (ゆでたもの)



作り方

- よもぎのアク抜きをする。(たっぷりの熱湯の中に重曹小さじ1を入れ、よもぎを柔らかくなるまで茹でる。冷水にさらし、水切りしておく。)
 - 上新粉と砂糖を混ぜ合わせ、熱湯を入れ、耳たぶ位の柔らかさにこねる。
 - 一握りぐらいの大きさにして蒸し器で15分蒸す。
 - 蒸しあがった団子に、細かく切ったよもぎを入れよくこねる。
 - 丸めて、指3本で押しつぶして出来上がり。
- ★ お好みで あんこ、きな粉を添えていただきます。
レシピ提供：川崎市女性農業担い手の会 あかね会

「農」に関するご意見・ご感想や農のある風景(写真)等、皆様からのお便りをお待ちしております。郵送、ファックスもしくはメールにて送付してください。(〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷2-1-7 JA セレサ梶ヶ谷ビル2階 川崎市農業振興センター ファックス 044-860-2464 Eメールアドレス 28nogyo@city.kawasaki.jp)

また、『お宅訪問!!かわさきの農家』の取材にご協力いただける方も随時、募集中です。